

2025 年 1 月 16 日

2024 年度第 4 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2024 年度第 4 四半期決算を発表しました。

第 4 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、2023 年度第 4 四半期における 31 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.35 ドル)に対し、67 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.82 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、15%増加して 253 億ドル(FTE ベースで 255 億ドル)となりました。2023 年度第 4 四半期の BSBY の公表停止に係る費用を調整すると、収益は 8%の増加となりました。かかる増加は、主として資産管理手数料及び投資銀行事業手数料の増加並びに販売及びトレーディング収益の増加に起因しました。
 - 純受取利息は、2023 年度第 4 四半期及び 2024 年度第 3 四半期から 3%増加して、144 億ドル(FTE ベースで 145 億ドル)となりました。
 - 前年同期比での増加は、主としてグローバル・マーケット事業、固定利付資産の金利更改及び貸出金の増加によるものでしたが、金利低下の影響により一部減殺されました。
 - 前四半期比での増加は、好調な預金、貸出金残高の増加及び固定利付資産の金利更改によるものでしたが、金利低下の影響により一部減殺されました。
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 3 四半期からは小幅に改善し、2023 年度第 4 四半期の 11 億ドルからは増加して、15 億ドルとなりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 3 四半期からは小幅に改善し、2023 年度第 4 四半期の 12 億ドルからは増加して、15 億ドルとなりました。
 - 2024 年度第 3 四半期においては 8 百万ドルの引当金の積増し(純額)、2023 年度第 4 四半期においては 88 百万ドルの引当金の取崩し(純額)であったのに対し、14 百万ドルの引当金の取崩し(純額)となりました。

- 非金利費用は、主として 2023 年度第 4 四半期における FDIC 特別査定費用がなくなったことにより、5%減少して 168 億ドルとなりました(収益に関連する費用並びに人材、技術、ブランド及び事業への投資の増加により一部減殺されました)。
- **バランスシートは引続き堅調**
 - 平均預金残高は、3%増加して、1.96 兆ドルとなりました。
 - 平均貸出金及びリース金融残高は、3%増加して、1.08 兆ドルとなりました。
 - 平均グローバル流動資金は、9,530 億ドルとなりました。
 - 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2024 年度第 3 四半期から 10 億ドル増加して、2,010 億ドルとなりました。
 - CET1 比率は、11.9%(標準的アプローチ)となり、10.7%の最低所要自己資本比率を上回りました。
 - 20 億ドルの普通株式配当及び 35 億ドルの株式の買戻しにより、株主に対して 55 億ドルを還元しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、7%増加して 35.79 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、9%増加して 26.58 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率は、9.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、12.6%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。